



BLUE BOTTLE  
COFFEE

## 米ブルーボトルコーヒー社ネスレグループ傘下へ

### さらなるおいしさの追求と広がりの実現を目指して

米ブルーボトルコーヒー社（本社：アメリカ・カリフォルニア、最高経営責任者：ブライアン・ミーハン）は、株式の68%をネスレ社（本社：スイス・ヴェヴェー、最高経営責任者：マーク・シュナイダー）に譲渡し、ネスレグループ傘下に入ることを発表しましたので、お知らせいたします。

ブルーボトルコーヒーの創業者でチーフ プロダクト オフィサーのジェームス・フリーマン、最高経営責任者のブライアン・ミーハンら現経営陣は、ブルーボトルコーヒーのビジョンである「おいしいコーヒーをより多くの人に届ける」を実現するために、引き続き陣頭指揮をとってまいります。

また、今後も、創業以来変わることのない3つの企業理念「デリシャスネス」「ホスピタリティ」「サステナビリティ」を掲げて、事業を展開してまいります。

ブルーボトルコーヒーは今回、ネスレとパートナーシップを締結したことにより、コーヒーに関する革新的な技術の習得、新しい国やエリアへの進出、デジタルプラットフォームの強化、商品ラインアップの拡充などにより、これまで以上においしいコーヒーを多くの人々に

届けることができると考えています。

また、日本では、2018年春に新しいエリアである関西において京都への出店を決定したほか、東京及び関西エリアでのさらなる出店や他エリアへの進出など積極的に事業を拡大してまいります。

ブルーボトルコーヒーは、創業者のジェームス・フリーマンが2002年に、サンフランシスコのファーマーズマーケットでハンドローストしたコーヒー豆の販売をスタートしたところからはじまりました。現在は、サンフランシスコからニューヨーク、ロサンゼルス、東京、ワシントンD.C.へとビジネスを拡大し、さまざまな地域で、季節に合わせたスペシャルティコーヒーをお届けしています。2017年中に、アメリカ国内では新しいエリアとしてマイアミ、ボストンに進出する計画があり、今年度の売上高は前年比70%増を記録する見込みです。

#### COMMENT

##### ブライアン・ミーハン

ブルーボトルコーヒー 最高経営責任者

私のミッションは、ブルーボトルコーヒーでサステナブル（持続可能）な経営を行っていくことです。スペシャルティコーヒー界のグローバルリーダーを目指すという長期的な目標に向けて、これから食品世界最大手のネスレと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

#### COMMENT

##### ジェームス・フリーマン

ブルーボトルコーヒー 創業者/  
チーフ プロダクト オフィサー

私は15年前に、自家焙煎したおいしいコーヒーをより多くの人にお届けするという目的のもと、ブルーボトルコーヒーを創業しました。ネスレは、私たちが提供するコーヒーの味や、お客様にコーヒーをお届けするまでのサステナブルな過程、そして私たちのスタッフに対して多大なる信頼を寄せてきています。私たちは今後、これまで想像すらしていなかった成長を遂げることができるでしょう。

#### COMMENT

##### マーク・シュナイダー

ネスレ 最高経営責任者

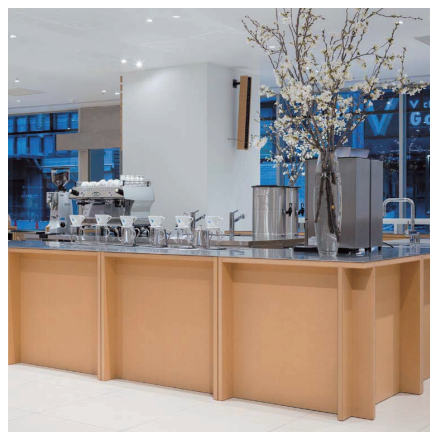
消費者動向の変化に合わせて、高成長が期待される分野への投資を図るべく、ブルーボトルコーヒーを傘下に迎え入れました。彼らのコーヒーのおいしさを追求し続ける姿勢や、将来を見通した経営能力は、ブランドを成功へと導くすばらしいものです。サステナブルでおいしいコーヒーを提供し続けるという軸があるからこそ、支持され続けるのでしょうか。

## ABOUT NESTLÉ

ネスレは、1866年にスイス・ヴェヴェーに創業した世界最大の食品飲料会社です。世界191ヵ国に拠点をもち、32万8,000人の従業員が、「生活の質を高め、さらに健康な未来づくりに貢献します」というネスレの存在意義を示すために働いています。私たちは、150年間に

わたって、お客様のあらゆるライフステージに合わせて、おいしくて健康的な飲料や食品を提供してきました。現在は、ネスカフェやネスプレッソ、リーンクイジンなど、2000を超えるブランドやサービスを抱えています。

## ABOUT BLUE BOTTLE COFFEE



ブルーボトルコーヒーは2002年に、創業者のジェームス・フリーマンによって、アメリカ・カリフォルニアで誕生しました。日本の喫茶店文化やおもてなし文化を反映したホスピタリティ、環境面に配慮したコーヒー豆を提供するサステナビリティを信念に掲げながら、徹底的に追求したおいしいコーヒーを提供してまいりました。また、自社のロースタリーから焙煎したてのコーヒーを配送可能な地域にのみカフェをオープンすることで、おいしさのピークに合わせてエイ

ジングしたコーヒー豆の販売を行っています。現在は、サンフランシスコ、ニューヨーク、ロサンゼルス、ワシントン D.C.、東京の5都市圏で40店舗を展開しています（2017年9月15日現在）。米国は年内に、マイアミとボストンへの進出を予定しているほか、日本は2017年10月末に、7号店目となる三軒茶屋カフェのオープンを予定しています。

問い合わせ先 Blue Bottle Coffee Japan合同会社 広報担当：齊藤 [japan\\_press@bluebottlecoffee.com](mailto:japan_press@bluebottlecoffee.com)